

新中野ダム（函館市）

<施設全景>



<位置図>



地図の出典元：国土地理院

<施設概要>

新中野ダムは、昭和40年代に集中豪雨による洪水被害がたびたび発生したことを受け、昭和35年に函館市水道局の直営で水道専用ダムとして完成した既設の中野ダム（旧ダム）に北海道函館土木現業所（当時）がかさ上げ工事を行い、洪水調節機能や用水補給機能を持たせた多目的ダムとして昭和60年3月に完成しました。

<<みどころなど>>

新中野ダムは、かさ上げ高（旧ダムに腹付け）では道内で一番の高さがあり、ダムの天端からは、晴天時には函館山、五稜郭タワー、下北半島等を一望することができます。また、桜の時期にダムから見下ろす景色は素晴らしいとお勧めです。ダム下流のダム公園には、大雪ダム、豊平峡ダム、笹流ダム、新中野ダムのミニチュアがあり、季節になると子どもたちが水遊びを楽しむことができます。

<諸元>

形式：重力式コンクリートダム
堤高：74.9m 堤長：248.0m
総貯水量：3,340,000m³
有効貯水量：2,820,000m³

<見学可能人数>

約30名

<アクセス>

函館新外環状道路 赤川ICから約5km上流方向

<見学箇所>

ダム天端、監査廊

<その他施設>

大型バス通行不可（マイクロバスまで）
トイレ：管理棟にあり

<見学所要時間>

約1時間

<注意事項>

- ・山林のため、熊の出没により、当日、見学ができなくなる場合があります（H30年は、ダム上流付近で1回確認）。

<周辺の観光情報>

- ・ダム公園（約1km下流）
- ・笹流ダム（約4km下流）
- ・五稜郭タワー（約15km下流）



貯水池



ダム下流



ダム公園（新中野ダム）